



発行：東京都公民館連絡協議会

会長：西東京市

職員部会長：小金井市 菅本 孝文

日時：原則毎月第3水曜日

会場：小金井市市公民館本館

メンバー：昭島市（遠藤）・国立市（遠藤）

町田市（今村）・国分寺市（南波）

小平市（小山）・狛江市（横山）

西東京市（山本）・東大和市（富田）

日野市（飯田）・福生市（西田）

第3回職員部会報告

1 事務局より

- ・職員部会ニュースコラム担当順

6・7月号 日野市、福生市（7月20日締め切り）

8・9月号 国分寺市、国立市（9月23日締め切り）

- ・第1回都公連役員会の報告

5月25日（木）に、都公連第1回役員会が開催された。内容としては自己紹介、各部会報告、今後のスケジュールなど。

職員部会として、1回目、2回目の定例会を終了していること、今年度は研修会を1回実施予定であること、詳細などは今後決定していくが「公民館としての、魅力ある講座とは」というテーマに決定したこと、また、研修会の内容をその後の都公連研究大会課題別集会へつなげていくことを報告した。

2 協議事項に関して

- ・研修会内容について

前回決定したテーマ、内容、日時、対象に関して改めて確認。講師については伊東顧問より助言をいただき、金田光正氏、倉持伸江氏、朝岡幸彦氏が候補となった。出席者多数決により、金田光正氏へ講師依頼を行うことと決定。

次回の定例会では広報関係を含めた詳細を決定する。特に、配布するチラシについて各市で案を持ち寄り確認する。

- ・都公連研究大会課題別集会について（第1回企画委員会の報告）

6月2日に第1回企画委員会開催。町田市今村様出席。今年度の

研究大会は2018年2月3日(土)10時~16時(午前中は全体会、午後は課題別集会)。メインテーマ等未決定ではあるが、“未来志向的なテーマ”を検討中。職員部会として、研修会に関連づけたテーマとする旨を伝えている。

3 各市からの報告事項

福生市より。各市の公民館だよりなど広報物の扱いについて確認。

第4回職員部会報告

1 事務局より

- ・職員部会ニュースコラム担当順
6・7月号 日野市、福生市(7月20日締め切り)
8・9月号 国分寺市、国立市(9月23日締め切り)

2 協議事項に関して

- ・研修会内容について

講師依頼を行い、金田光正さんから承諾していただいた旨を伝えた。実施日は9月13日(水)午後2時~4時に決定。

周知用チラシについて、5件の候補が挙がり、会議出席者で意見交換を行った。東大和市富田さんが作成したチラシを元に①表面強調部分(タイトルや日時など)をはっきりさせる、②フォントの使用方法を注意する(1つの画面に3つまでが良い)、③リード文について再考する、④裏面に地図をつける、などの意見を集約した修正版を作成することとなった。作成をしたのち、各市担当者へ連絡を行い、8月中旬頃の配布を目指す。

- ・都公連研究大会課題別集会について(第2回企画委員会の報告)

7月12日(水)で第2回企画委員会が開催。メインテーマ「東京の公民館の未来~持続可能な地域、次世代の学びに向けた公民館~」が案として挙がっている。次回は8月29日(木)に開催予定であり、そこで主に各課題別集会のテーマ、助言者について報告を行うこととなった。職員部会では研修会のテーマを引き続き課題別集会にもつなげていくことを伝えている。

助言者について、研修会と同様引き続き金田さんに依頼を行うことと決定した。

3 各市からの報告事項

- ・〇〇大学、のような講座の実態や状況について今後アンケート調査を行う予定なので協力して欲しい（昭島市）

職員コラム

この「職員コラム」は、毎回職員部会のメンバーが交代で記事を書きます。内容は職員部会の様子や各市公民館の行事、お知らせしたい事業などです。今回は小金井市、小平市が担当です

日野市

「第30回公民館まつり」開催&まちづくり講座実施中！

日野市中央公民館 飯田一正

昨年、公民館開設50周年を迎えた日野市中央公民館ですが、今年は公民館まつりが節目の第30回でした。多くの皆さまのご協力をいただき、5月20日（土）から5月21日（日）の2日間にわたって開催し、多くの皆さんにご来場いただきました。発表、展示、ステージ、模擬店に加えて、今年は『日野音頭や日野パット節を踊ろう！』などの企画もあり、大いに盛り上がる公民館まつりとなりました。

今年は“若い世代が目立った公民館まつり”と言えます。

公民館の近隣中学校である日野市立第一中学校の学生による会場内のクイズラリー企画や、帝京大学教育学部の丹間康仁先生のゼミによる「公民館まつり来場者アンケート」を実施しました。今後は同ゼミ内で分析を行い、公民館へのフィードバックを予定しています。また丹間ゼミのみなさんはまつり内の交流パーティでも催し物をするなど、若い世代の力が公民館に新たな活気を生み出していました。

51年目を迎えた日野市中央公民館に、新しい流れが期待できる公民館まつりでした。



現在、日野市中央公民館では成人講座として「若者たちで考える“まちづくり”」を実施中です。講師にNPO法人 Youth Create さんを迎え、6月～10月の全6回でおこなっています。参加者は高校生から社会人まで16名が参加しています。

7月15日に開催された第2回では、市の策定した『第5次日野市基本構想・基本計画』を読み、後期基本計画から興味のあるテーマについてグループごとに話し合いをおこないました。2回目という事もあり、参加者同士も打ち解けて活発な意見交換がありました。

今後、希望者対象の都内社会科見学を挟み、9月以降には他部局の職員をゲストに招きながら議論を深めていく予定です。最終的には施策提案や発表会の実施までできるよう努めていきます。

福生市

「本館まつりが開催されました！」

福生市公民館本館 西田 菜穂

7月8日（土）9日（日）に「第19回公民館本館まつり」が開催されました！

私は「子ども遊び」という子ども向けの部門を担当しました。草笛や射的、パターゴルフ、こま、バルーン教室などをサークル等4団体の協力で行いました。

「子ども遊び」を通して、小学生や学童クラブの先生など普段はゆっくりお話ができないような人たちと接することができ、とても充実した時間を過ごすことができました。また、閉会式にあたる「エンディング」では参加者全員が輪になり「福生音頭」を踊りました。少し照れながらも踊る参加者の顔はみんな笑顔だったのが印象的です。



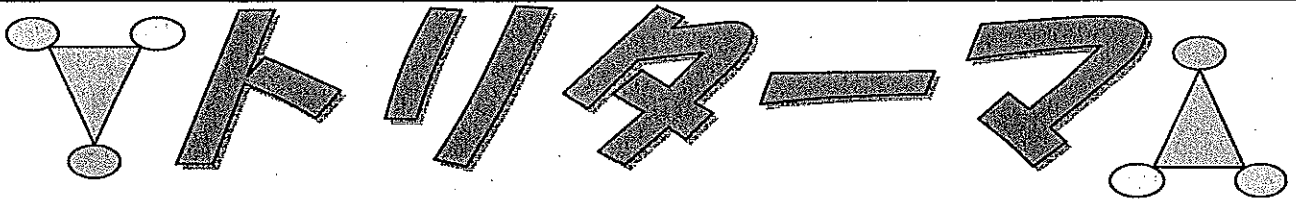
「バルーン教室」のようす



「エンディング」で踊った福生音頭

館内のようす





「トリ」は三、「ターマ」は多摩からの造語。三多摩地域への想いを込めて。

【発行】東京都公民館連絡協議会【編集】東京都公民館連絡協議会研修担当
西東京市柳沢公民館 ☎042-464-8211 町田市生涯学習センター ☎402-728-0071

2017/8
第29号

総会報告

東京都公民館連絡協議会長
西東京市公民館長 大橋 一浩

平成 29 年度東京都公民館連絡協議会定期総会が4月19日(水)に国立市公民館地下ホールで開催されました。

総会では第1号議案「平成28年度事務報告」、第2号議案「平成28年一般会計決算」、第3号議案「平成28年特別会計決算」、第4号議案「財産に関する調書」、第5号議案「監査報告」及び第6号議案「平成29年度都公連役員」が承認・認定され、引続き第7号議案「平成29年度運営方針及び事業計画(案)」、第8号議案「平成29年度一般会計予算(案)」及び第9号議案「平成29年度特別会計予算(案)」がそれぞれ承認され閉会となりました。

学びの拠点としての公民館

平成 29 年度の運営方針及び事業計画は、少子高齢化が急速に進む中、社会を取り巻く環境も大きく変化し、住民が集い、学ぶ場としての公民館が果たすべき役割も変化しています。地域住民の学び、文化の拠点として、主体的な学びに参画する人材の育成、住民相互の協力による地域社会の活性化など、地域課題を主体的に解決するためのコミュニティーづくりや、学びを地域に還元できる学習環境の整備、学びを支援する体制など、学びの拠点としての公民館が求められています。

こうした背景をもとに、都公連では昨年引続き、

1. 公民館における今日的な課題や方向性について、情報の交換・共有をする。
 2. 地域づくりにつながる公民館事業の実践や公民館の果たすべき役割を学ぶ機会を充実させる。
 3. 公民館関係者の研修・情報交換の場を設け、課題解決に向けた調査・研究を行う。
- ことが総会で承認されました。

各部会と公民館研究大会の取り組み

そのために、館長部会、委員部会、職員部会やその他研修活動を実施し、継続的に取り組んでいきます。

また、前年の東京都公民館研究大会では、委員部会が「少子高齢化時代の公民館のあり方について考える」をテーマに、課題別集会を担当し様々な議論・情報共有が図られました。今年度は委員部会・職員部会がそれぞれに課題別集会を担当し、実践にもとづき様々な課題等の解決に向けた議論が図られることを期待しています。研究大会は、狛江市を大会事務局として、来年の2月3日(土)の開催に向け準備が進められています。大会には多くの関係者の皆様が参加いただけますよう、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

委員部会研修会について

昭島市公民館運営審議委員
大澤 俊則

委員部会では、本年度2回の研修会を計画しています。毎年研修会の準備計画に多くの時間が費やされています。早期にテーマと講師依頼、日程を決める必要があります。本年度も4月の第1回委員部会会議より、研修会の内容について検討を始めました。

公運審の委員は、委員としては任期が短くても、公民館活動での経験が長い方も多く、各分野の人がいます。多くの人に興味の持てる内容にしたいです。

研修会の形式としては、講演、事例発表、グループ討議がありますが、いずれにしても各市の委員が交流できる良い機会です。講演や発表の後にグループで話し合える時間を持ちたいと思います。

テーマには、公民館のあり方を考える総合的な案と、公民館活性化の事例を聞きたいという案がでました。年2回の開催ですので総合的テーマと実践的なテーマに分けて計画しました。

テーマの案がいろいろ出ました。

- 1、都心近郊市で、多様な日常生活をしている市民にとって、公民館の役割とはなにか、市民は何を求めているのか。カルチャーセンターがあり、遊び場があり、芸術に触れ情報も得ることができます。このような中で公民館の役割も変わっていく可能性があります。
- 2、都公連以外の近隣市や、都区内の社会教育関連施設の活動も参考にしたい。
- 3、公民館を活性化させるために、どうするか。公民館の魅力を発信する方法は。地域課題をどう取り上げるか。地域ボランティアへの参加は。その他

講師については、各市で実施した講演を参考に、先生を紹介してもらい、依頼

しています。今年は小金井市の委員より提案があり、話を進めています。

公運審は自由な発想で提案できる立場です。新しい展望、切り口でこれからの公民館のあり方を学びたいと思います。



議会館長部会について

福生市公民館
館長 佐藤 克年

第1回館長部会を、下記のとおり開催いたしましたので、報告いたします。

日時：7月14日（金）午後3時～5時
場所：国分寺市本多公民館2階講座室
議事

1. 自己紹介（各市から）
2.
 - (1) 各市の情報提供
 - (2) 東京都公民館連絡協議会館長研修
テーマ・内容・実施時期等について
- ・公民館で活動するサークル登録の規定。
- ・講師謝礼の規定。
- ・事業運営について。
- ・施設運営について。
- ・公民館職員のやりがい。
- ・公民館職員の人員体制、職種。
- ・都公連非加盟市へ研修等への参加呼びかけ。
- ・公民館、生涯学習センター等の共通の悩み、解決のヒント。
- ・意見交換を定例化していくことの大切さ。
- ・魅力ある講師、魅力ある研修会の実施。
- ・講師に関する情報の共有について。
3. その他

「東京都26市の公民館に関する調査」のデータが古くなっているため、新しい情報に更新したらどうか。＝既存の調査票データに項目追加や内容確認を行い、更新してから各市にメール送信する。

なお、上記2(1)、(2)の意見を踏まえて、第1回目の「研修会」を10月下旬～11月中、第2回目の「意見交換会」を1月中旬～2月中旬に実施することになりました。

職員部会報告

都公連職員部会会長

小金井市公民館 菅本孝文

今年度、職員部会会長をつとめさせていただきます、小金井市公民館職員の菅本（とまもと）と申します。どうぞよろしく願いいたします。

私は、昨年に引き続き職員部会へ出席しています。昨年は1年目にして副部会長を仰せつかりました。しかし、まったく部会長の助けとなることができず、フォローされっぱなしでした。今年、部会長となりましたが、やっぱり分からないことだらけで各市のみなさんに助けてもらっています。その為か、参加しているみなさんが積極的に会議に参加してくれ、例年以上に雰囲気良く会議を行うことができている。

さて、早いもので職員部会の定例会も7月で4回終了しました。今年、昨年とは大きく異なり、研修会を行う予定となっています。その為、4月からまずは研修会の内容を検討してきました。

第1回目は、関心や興味がある事例を出しあい、内容を決定するための方向性を決めました。その中で、

- ・公民館の魅力ある事業とはどのようなものか
 - ・公民館職員とはどのような人材か、これまでの公民館と今後の公民館について
 - ・ESDと公民館について、生涯学習の中での公民館とはどのようなものか
- といったことを考えてみることとなりました。また、通常の会議、研修会、研究大会課題別集会を切り離して考えるので

はなく、全てを関連付けて考えられるような内容を選んだ方が良いとの意見が出ました。

第2回目は、前回出た意見を集約し、研修会で扱う内容は「公民館としての、魅力ある講座とは」に決定しました。これは、PR方法や講座で良い企画を生むための雰囲気づくり、また魅力ある講座をつくるためにはどうすれば良いかといった事に関心があるという意見が多かったためです。また、講座を企画したが失敗してしまった、といった事例も聞いてみたいとの声も挙がりました。

第3回目は、決定した内容を受けて、講師の選定を行いました。元公民館職員や大学教授など多くの候補が挙がりましたが、一番講義を受けてみたいと声が多かった元富士見市公民館長の金田光正さんに講師をお願いすることが決めました。

そして、第4回目は、周知用チラシを作成しました。事前に数種類のチラシを作成して、会議の中で発表してもらいました。また、作成されたチラシについて全員で意見交換を行いました。最終的に、もっとも評価の良かったチラシを元に、出た意見を踏まえて修正を行いよりよいものへ仕上げることとなりました。

まだ4回のみ開催である職員部会ですが、いろいろと印象的な会議を行っていると感じています。特に、第4回目の周知チラシ作成については、数種類のチラシデザインをコンペのように見比べるといった、普段の業務では味わうことの出来ない体験ができたと思います。加えて、作成のためのツールや表現、考え方が担当者によって違うなど新たな発見があり、刺激を受けました。

公民館の役割とは

日本の公民館は、戦後、日本人が日本国憲法を学び、民主主義を育てていくための、社会教育の拠点となってきました。北九州で民衆史を掘り起こしてきた林えいだいさんや、1954年の第五福竜丸事件を契機に東京・杉並区で始まった「原水爆反対署名」などをてがかりに、公民館が果たしてきた歴史的意義について考えます。

日 時：平成29年9月2日（土）午前10時～正午
会 場：昭島市公民館 学習会議室（3階）※裏面地図参照

当日のプログラム

講演、質疑・応答、情報交換を予定。

「講師」^{ながた こうぞう}永田 浩三 氏 武蔵大学教授

プロフィール

1954年大阪生まれ。東北大学卒業。1977年NHK入局。ディレクターとして教養・ドキュメンタリー番組を担当。プロデューサーとして「クローズアップ現代」「NHKスペシャル」「ETV2001」等を制作。2002年、国谷裕子キャスターらと「クローズアップ現代」で菊池寛賞を共同受賞。2009年から武蔵大学社会学部メディア社会学科教授。映画「60万回のトライ」の共同プロデューサー。「表現の不自由展」共同代表。

著書

「ヒロシマを伝える」（WAVE出版）「奄美の奇跡」（WAVE出版）「NHKと政治権力」（岩波現代文庫）「ベン・シャーンを追いかけて」（大月書店）など多数。

- ・ 申込方法：各市公民館にお申込みください。
 - ・ 問合せ先：昭島市公民館 事業係 電話 042-544-1407
- 昭島市公民館
昭島市つつじが丘3-7-7
☎ 042-544-1407